

## 平成27年1月7日(水)、「平成26年度愛媛大学共通教育貢献賞表彰式」を行いました。

この賞は、本学の共通教育の改善に顕著な貢献があった者に与えられ、本年度制定されました。

記念すべき第1回目は、授業方法の開発又は優れた授業の実践に貢献があった者として、初年次科目「スポーツ」の担当教員グループの20人(非常勤講師11人を含む)及び共通教育の充実又は発展に貢献があった者として、現在の共通教育の礎を作り上げた山本久雄教授が選考されました。

表彰式では、柳澤康信学長から、受賞者に対して表彰状の授与があった後、共通教育の改善に対する貢献について感謝の言葉がありました。



柳澤学長から表彰状の授与

続いて、「スポーツ」の受賞者を代表して、浅井英典教授が、現在の「スポーツ」の授業形態に至るまでの経緯や、さらなる改善に向けた抱負などを述べました。そして、山本久雄教授から、既に退職されたたくさんの方々の尽力により共通教育の改革が実現したことや、これからも共通教育の在り方に関するさらなる議論が必要であることなどの話がありました。

受賞者の氏名及び選考理由についてはこちらをご覧ください。



「スポーツ」の受賞者を代表して浅井教授の挨拶



山本教授の挨拶



記念撮影

平成26年度愛媛大学共通教育貢献賞被表彰者

【1】

氏名，所属及び職名	浅井 英典 愛媛大学教育学部教授 牛山眞貴子 愛媛大学教育学部教授 福 田 隆 愛媛大学教育学部教授 日野 克博 愛媛大学教育学部准教授 糸岡 夕里 愛媛大学教育学部講師 山本 直史 愛媛大学教育学部講師 石井 浩一 愛媛大学教育学部教授 田中 雅人 愛媛大学教育学部教授 藤 原 誠 愛媛大学教育学部教授 安藤 進一 非常勤講師 市 河 勉 非常勤講師 井門恵理子 非常勤講師 大西 崇仁 非常勤講師 佐伯 美香 非常勤講師 酒井 達郎 非常勤講師 西野 吉幸 非常勤講師 林 恭 輔 非常勤講師 丸山 裕司 非常勤講師 丸山 陽子 非常勤講師 三浦 累美 非常勤講師
選考基準の該当事項	愛媛大学共通教育貢献賞実施要項第3条第1号（授業方法の開発又は優れた授業の実践に顕著な貢献があった場合）
選 考 理 由	<p>共通教育科目の初年次科目「スポーツ」を担当されている本学の専任教員及び学外非常勤講師の20名のグループは、入学生の体力・運動能力や運動習慣の二極化という課題に対応するため、また全学的必修科目としての授業内容や指導方法の標準化を図るため、運動の得手不得手にかかわらず、学生全員が一定の身体的教養を学修できるプログラム「愛媛大学版フィットネス・エクササイズ (E-fit)」の開発に尽力され、平成21年度より実際に授業に取り入れられている。さらに平成23年度からは、全50クラスに対する共通の成績評価規準を策定する取り組みを始められ、授業内容・指導方法・成績評価方法に関する改善をPDCAサイクルに従って進められている。これらの取り組みは、3度の愛媛大学教育改革促進事業（愛大GP）に採択されるとともに、論文としても公表されており、愛媛大学の取り組みは全国の大学から注目されている。</p> <p>以上の成果は、学外非常勤講師を含む授業担当教員の一致団結した授業改善の努力により達成できたものであり、授業担当教員全員を、第1回目の共通教育貢献賞「授業方法の開発又は優れた授業の実践」の該当者として選定した。</p>

## 【2】

氏名，所属及び職名	山本 久雄 愛媛大学教育学部教授
選考基準の該当事項	愛媛大学共通教育貢献賞実施要項第3条第2号（共通教育の充実又は発展に顕著な貢献があった場合）
選考理由	<p>山本久雄教授は、平成8年の教養部廃止後の、共通教育の企画・運営において、大学教育研究実践センター会議委員（平成9～12年度）及び大学教育総合センター副センター長（平成13～15年度）として中核的な役割を担われ、現在の共通教育の礎を作りあげられた。</p> <p>共通教育の実施に関しては、平成9年度から、ルネッサンスプランの策定、学部ごとの分担授業数、全学出動体制、授業案登録、英語教育のあり方等の議論に参画され、さらに平成13年度に改訂された共通教育のカリキュラム、履修単位数、時間割、開講授業数の決定にも尽力された。その後、大学評価・学位授与機構が実施した全学テーマ別評価「教養教育」における本学の自己評価書の作成を担当された。</p> <p>一方、共通教育改革と連携するFD活動の推進に関しても、愛媛大学教育ワークショップ（現在の授業デザインワークショップ）、全学教育実践シンポジウム、その他数多くのFD講演会の企画・運営に携わられるとともに、大学教育実践ジャーナルの創刊に関与された。</p> <p>このように、山本久雄教授の共通教育における功績は多大であり、その成果は国立大学法人化を経て現在に至るまで脈々と続き愛媛大学の特長となっている。よって、山本氏を、第1回目の共通教育貢献賞「共通教育の充実又は発展」の該当者として選定した。</p>

平成29年1月5日（木）、「平成28年度愛媛大学共通教育貢献賞表彰式」を行いました。

本学の共通教育の改善に顕著な貢献のあった者に与えられるこの賞は、平成26年度に制定し第1回の表彰を行いました。平成27年度には対象者がなく、平成28年度の今回が第2回の表彰となります。

今回の受賞者は、初年次科目「こころと健康」担当教員グループで、「授業方法の開発又は優れた授業の実践」に貢献があった者として、チームリーダー（野本ひさ教授）と各ユニット統括教員（橋本巖教授、小林直人教授、糸岡夕里准教授、上田敏子講師、垣原登志子講師）の6人が選考されました。

表彰式では、大橋裕一学長から、受賞者に対して表彰状と副賞の授与があった後、共通教育の改善に対する貢献について感謝の言葉が込められた挨拶がありました。

続いて、受賞者を代表して野本ひさ教授が、現在の「こころと健康」の授業形態に至るまでには多くの教職員に支えられてきた経緯や、さらなる改善に向けた抱負などを述べました。



大橋学長から表彰状の授与



学長挨拶



受賞者を代表して野本ひさ教授の挨拶



記念撮影



表彰式後の歓談の様子

平成28年度愛媛大学共通教育貢献賞被表彰者

氏名，所属及び職名	野本 ひさ 愛媛大学教育・学生支援機構教授 橋本 巖 愛媛大学教育学研究科教授 糸岡 夕里 愛媛大学教育学部准教授 上田 敏子 愛媛大学教育学部講師 小林 直人 愛媛大学医学系研究科教授 垣原登志子 愛媛大学教育・学生支援機構講師
選考基準の該当事項	愛媛大学共通教育貢献賞実施要項第3条第1号（授業方法の開発又は優れた授業の実践に顕著な貢献があった場合）
選考理由	<p>共通教育初年次科目「こころと健康」は、すべての新入生が履修し、数多くの教員が担当する本学有数の大規模な必修科目である。本授業は、新入生が、多様化する健康に対する考え方を理解し、心身ともに健全な学生生活を継続的に送ることができるよう、健康に対する基本的な知識とライフスキルを心・体・食の観点から広く学ぶことを目的とし、特に4つのユニット「青年期のこころ」「スポーツ」「生活の医学」「食と健康」を基軸に授業を展開している。</p> <p>授業は様々な学部の100名近い教員がオムニバス形式で担当しており、共通教育センター初年次科目部会「こころと健康」チームが運営に当たっている。その中で特に中核的な役割を担うのは、チームリーダーと各ユニットを統括する教員である。チームリーダーの野本ひさ教授および歴代のユニット統括教員5名は、2009年度の開講以来、長年にわたりこの大規模科目の企画・運営に尽力してこられた。ユニット統括教員は各ユニットの授業内容を設計し、授業担当教員間の連携を図りながら、全クラスの授業をコントロールしている。チームリーダーはこれらを取りまとめて、全クラスの時間割や授業担当者の全体的な調整、出席状況や成績分布状況の分析等を、チーム会の運営を通して行っている。</p> <p>更に、チームリーダーやユニット統括教員らは、①ビデオ教材やe-learning教材の開発、②全クラス共通の期末試験とその実施マニュアルの開発、③愛大GPの支援を受けた教科書の開発、④学生支援センターや共通教育チームと連携した不登校予防に向けた活動、⑤大学教育実践ジャーナルにおける論文2編の発表、等にも取り組んでこられた。</p> <p>以上の成果は、多くの教員や事務職員が関与するものであるが、その中でも一際チームリーダーとユニット統括教員のご尽力によるところが大きい。よって、この6名の方々を共通教育貢献賞「授業方法の開発又は優れた授業の実践」の該当者として選定した。</p>